

# 東京後楽ロータリークラブ週報

## The Rotary Club of Tokyo Koraku Weekly Report



**イマジン  
ロータリー**

「温故知新」

～IMAGINE ROTARY～

「イマジン ロータリー」

2022年～2023年度 会長  
志熊 昌宏

2022年～2023年度 国際ロータリー会長  
ジェニファー・ジョーンズ

基本的教育と識字率向上・ロータリーの友月間

2022年9月6日発行 (No.1016)

### 第1016回 例会

「クラブ協議会」

社会奉仕活動の企画・北分区ゴルフ予選会

### 前回例会

第1015回例会

卓話「シルクロード沿線に用いられた  
紫鉦絵具について」

米山奨学生 曹 智健 君

### 出席状況

第1015回例会

出席 20名 欠席 24名  
ビジター 0名 ゲスト 1名  
曹智健君(米山奨学生・清沢会員ゲスト)

### ニコニコBOX

ニコニコBOXは、ありませんでした。

ミリオンマイルズ:0円

本年度合計:232,235円

### 例会案内

9月13日 地区大会へ振替休会

《 第2580地区 地区大会のご案内 》

9月10日(土)

於:グランドプリンスホテル新高輪「飛天」

### 本会議

12:00 受付開始

13:00 開会

記念講演「ともに輝くために私たちができること」  
東京パラリンピック マラソン金メダリスト  
道下美里様

ポリオメッセージ「ポリオとロータリーと私」  
関場 慶博 バストガバナー

### 会員懇親会

18:55 開宴

20:00 閉会

9月20日 卓話「未定」

9月27日 休会

### CLUB NEWS

- ◆ 9月3日(土)・4日(日)に開催された「第2580 & 2620地区米山記念奨学生合同研修」に米山奨学生の曹智健君が参加致しました。
- ◆ 9月9日(金)セルリアンタワー東急ホテルで開催の会長幹事会に、志熊会長、木津幹事が出席されます。引き続き開催されるRI会長代理ご夫妻歓迎晩餐会にも、志熊会長、木津幹事が参加されます。
- ◆ 9月10日(土)グランドプリンスホテル新高輪で開催される地区大会「入会3年未満会員セミナー」に大木会員が参加されます。引き続き開催される「PHSとメジャードナーの集い」に、志熊会長と長與会員が参加されます。本会議は当日登録が可能ですので、ご参加下さい。
- ◆ 国際ロータリー本部より9月のロータリーレートは、現行1ドル133円から139円に変更との連絡がありました。

### MEMBER'S NEWS

- ◇ 8月30日に倉館勝次会員が入会されました。



- ◇ 9月お誕生日おめでとうございます！  
長與博典会員 高橋太郎会員  
畠山雅彦会員  
村田会員奥様 木津会員奥様

TEL: 03-5940-3355 FAX: 03-3947-4010 E-Mail: koraku@mint.ocn.ne.jp

例会 毎週火曜日12時30分 / 東京ドームホテル 電話: 03-5805-2111

事務局 〒112-0014 文京区関口2-10-8 藤田観光(株)別館内

会長 志熊昌宏 / 幹事 木津久徳 / 会報委員長 稲木きよ子

URL <http://www.korakurotary.com>

## 第1013回例会卓話「日本とドイツの交流」

ピアニスト 古畑 祥子 氏

ピアニストの古畑祥子です。ドイツのカイザースラウテルン市に住んでおり、文京区とカイザースラウテルン市は姉妹都市です。その関係から私は20年ぐらい前から国際交流ということで、協力させていただきました。印象に残っているのは東日本震災のときです。そのときに釜石と文京区が関係していたということもありまして、カイザースラウテルン市から義援金が文京区を通じて釜石に送られました。カイザースラウテルン市というのはラインラント州に位置しまして、ラインラント州と岩手県が姉妹州で、最初に私が釜石で被災者のためにコンサートをしたところでした。もちろん全てが津波で流されて、コンサート会場も全てなくなってしまいました。お寺は、死体安置所になり皆さんが家族



の死体を探しに、または友達死体を探しに、ここに集まりました。日本でも著名な指揮者の大野一志さんが、彼自身のピアノを寄贈しまして、そのピアノで被災者のために弾きました。このときの感動が、今の私のコンサート活動を支えていると言っても過言ではありません。ピアノと音楽によって少しでも人と人と心と心を繋いで、もしかしたら魂を繋げて、それで音楽を共有することがコンサートをしていくという意味ではないかというので、今もその気持ちで続けております。釜石に最近TETTOホールという素晴らしいホールができて何年か前からまたそこで弾かせていただいています。やはり震災復興ということで、スポンサーを私はドイツから持ってきて釜石の復興に協力してもらっています。今年はクーゼル市というのがカイザースラウテルンからちょっと離れたところにある市からスポンサーまたカイザースラウテルン市などの市など州をまとめたウエストファル未来財団という300ぐらいの会社と一緒にいる財団がありそこからスポンサー協賛を受けて、今回釜石のコンサートを開催いたしました。もちろんホール釜石の協力もあります。今まで何回か釜石でコンサートを行い、そしてドイツでもチャリティコンサートなどを行ったということで、今回釜石市長から感謝状をいただきました。私が国際交流協会の日本大使の時に一つプロジェクトをしました。ドイツの優秀な音楽家をどうしても東京で演奏させたい。ドイツの優秀な音楽家にとって将来的にも履歴書に東京でコンサートというのはとても意味のあることで、実現させたいということで文京区シビックホールの方に協力いただきまして、これは公式訪問ということでカイザースラウテルン市の市長また議員と一緒に文京区にきました。そのときにカイザースラウテルン市は、その若者の飛行機代までは出せないということで、助けを求めたのがロータリークラブでした。おかげで文京区でコンサートをすることができました。文京シビックホールはすぐに満席になり、文京区民の方がドイツの若者の演奏を聞きたいということで、フロアーに、何十人の方が入りきれなくてモニターで鑑賞をしてもらったという、今も忘れられないコンサートでした。文京区には講道館という素晴らしい柔道のインセンティブとかあります。なんとかドイツの柔道家の若者たちを講道館に連れて来たい。という思いがありまして私がこれもプロジェクトをしました。その他にヨーロッパで一番大きいし、私は一番美しいと自負しております日本庭園がございます。10年以上協力させていただきました。今顧問を務めています。その日本庭園の中にちょっと食べたり飲んだりできる場所があり、その名前を文京庵というものにしました。何年か前にこのカイザースラウテルン日本庭園と細川庭園が姉妹協定を結びました。日本からもお茶の先生を呼んでお茶会を開いたり、日本の和太鼓のグループが日本庭園で演奏会をしたり、同時に日本文化をより一層わかってほしいこのコロナの中、日本の文化の癒し、その日本庭園にいたらオアシスの中にあるような、その精神の癒しまたそれは精神的に助ける、そういうものをドイツにより知ってほしいと思っております。今回のイベントでフランクフルトの朝妻総領事に日本庭園を大変気に入って頂いています。私はピアニストで、今まではドイツ、アメリカでコンサート活動してきましたが、日本でコンサートをするというのは経済的に難しくて援助を受けるというのがなかなか難しくていつも断念していました。自分の祖国の日本でやりたいということで3年前からコンサートツアーを東京・大阪・福島で、今回は那覇、先ほど申し上げました釜石でやっております。今回のツアーはドイツ大使館の後援。日独国際交流の経済と文化を提携して発展することができないかということをやっております。経済の交流、政治の交流に文化が連携して一緒に発展し、もしかしたら、今のウクライナのような状況が少しだけ免れることができるかなというわずかな希望を私は思っております。音楽というのは人の心に響いて、残るだけではなく人と人を繋げるものだと思います。